

学習の手引き

教材

「魅力的な提案をしよう」

単元課題

三郷市の魅力を



「Wikipedia」の編集者に

提案する



組 番 ()

★ウィキペディアタウンって知っていますか？

その地域にある文化財や観光名所などの情報をインターネット上の百科事典「Wikipedia」に掲載し、さらに掲載記事へのアクセスの容易さを実現した街のことです。日本では、街そのものを指す語句よりも、対象となる地域で街歩きを行い、街の魅力となる史跡や観光名所について、実際に見聞きしたことをウィキペディアに記載するイベントを「ウィキペディアタウン」としています。

★「Wikipedia」の役割

①オンライン上の百科事典

百科事典とは、社会生活上の事柄や、あらゆる専門分野の言葉についての説明を記述した辞書のことを言います。「Wikipedia」は、誰でも編集に参加できるという利点を生かし、一般の百科事典よりも細かい内容の情報を幅広く網羅しています。ニュース番組などでも参考資料として活用されるほどです。

何か調べる時に「とりあえず Wikipedia を見てみよう」という人も多いのでは？



②デジタルアーカイブ

歴史や文化に関わる資料や芸術作品などあらゆる情報をデジタル化したうえで保存し、さらにそのデータを公開することで、多くの人がインターネット上で共有・利用できる仕組みを指します。こうすることでたとえ、オリジナルの資料や作品が破損・紛失してしまっても、人々が継承していくことができます。



水害が多い三郷。もし町全体が洪水の被害に遭ってしまったら……

★授業中の活動について

なるほどね～じゃあ、早速三郷市の「Wikipedia」でも覗いてみるか・・・。

少ないっ！！ 

皆さん、三郷市の「Wikipedia」は、情報がとても少ないです。三郷市のことを何も知らない人が見たらきっと「〇〇〇〇〇まちだな～」と言われてしまいますよ！

と、言うわけで、今回の授業では三郷市の「Wikipedia」を活性化させ、もっと三郷市について知ってもらえるように、グループに分かれ、【三郷市の魅力を「Wikipedia」の編集者に提案する】という活動を行っていきます。

※うまくいくと、実際に「Wikipedia」に掲載されます。



この活動は、三郷市について知ってもらうことが目的です。そのため、「おいしいご飯屋さんを載せる」のようなどこにでも載せられる情報ではなく、三郷市に関わる、三郷市特有の内容を提案できるようにしましょう。

★編集の視点(参考に)



情報を発信するときには「相手意識」が重要です。

「Wikipedia」は、世界中のあらゆる人に向けて情報を発信しています。その中でも、例えば「外国の人はこういう情報なら興味を持ってくれそう。」「おじいちゃんおばあちゃん世代は、自分たちの知っている三郷市が載っていたら喜ぶかもしれない。」など。相手を想定してみると、考えやすいと思います。

○歴史や文化について

- 三郷市は水害多かったらしいけど・・・
- 三郷市の昔話ってあるのかな？
- 大きな出来事ってあったのかな？

など

○生活や風習について

- 三郷市ってどんな街を目指しているの？
- 三郷市の人には鰻を食べてはいけない？
- 三郷市にも方言ってあるのかな？
- 三郷市の教育は何を目指しているの？
- 三郷市らしい取り組みはあるのかな？

など

○名所・旧跡・観光・祭事について

- 香取神社以外に有名な祭りはないの？
- 三郷市にも七福神がいる？
- オビシャ？

など

★授業の流れ・見通し



- ①
 - 教師による「編集内容の提案」を聞き、イメージを持つ。
 - 三郷市の「Wikipedia」を閲覧し、どのようなことをのせるべきか個人の考えを持つ。

↓
- ②
 - 編集会議Ⅰ
 - ①で考えた個人の考えを交流しながら、グループとしての方針を決定する。
 - どの項目を編集するか
 - どんな情報を収集するのか
 - 情報収集する。

↓
- ③
 - 編集会議Ⅱ
 - 集めた情報を整理し、提案内容としてよりふさわしいものを選ぶ。

↓
- ④
 - 提案の準備（スライドの作成）を行う。
 - ①「三郷市の魅力について」広く知らせたい事物
 - ②なぜそのことについて載せた方がよいと考えているのか？
 - ③その根拠。（出典等も含めて）
 - ④実際に「Wikipedia」に記載する文章について
 - ⑤活動を通しての感想
 - 発表の練習をする。

↓
- ⑤
 - グループごとにスライドを用いて、「Wikipedia」を編集する内容を提案する。（動画を撮影する。）
 - フィードバックをもとに修正する。
 - 単元の振り返りをする。

★出典の示し方

出典は、自分たちの提案する内容が勝手な思い込みや、独りよがりな意見ではないこと、確かな事実であることを証明（裏付け）する大切なものです。示し方を理解して、資料作りに役立てましょう。



書籍

著者名（编者名、訳者名）、『書名（版、シリーズ、巻数）』、出版社名、出版年、ページ、ISBN

Web ページ

著者名（運営主体）、「ウェブページのタイトル」、〈URL〉、（最終アクセス年月日）。

雑誌

著者名「論文・記事のタイトル」『雑誌名』、巻数、号数、発行年月、ページ

★「アカデミック・ライティング」を意識しよう！

研究の論文や大学のレポートなどを書くときに使う技術です。

①わかりやすい文章にすること

(読む人が考えずに理解できるようにする。)

②根拠のある文章にすること

(推測でなく、事実をもとにして書く。)

を、重要視する。



ポイント

○問いから答えまで、一貫した説明ができるように書く。

今回の授業の場合

問い＝三郷市「Wikipedia」をどう編集するのか。



この間で、話の筋がそれたり、「答え」から遠ざかるようなことを説明しないようにする。

答え＝グループの結論 (提案内容)

○一文には一つのことを書く。

○「だ・である」調で書く。

○引用する際には、「」を使う。

○話し言葉を使わずに書く。

※資料に書いてあったことをそのまま自分たちの意見として書くことは禁止です。